

6月4~10日 「歯と口の健康週間」

「歯と口の健康週間」(6月4~10日)にちなんで、大阪・天王寺動物園で今月31日午後1時半から「カバのテツオ君歯みがき教室」と「子どものための歯科相談」(大阪府歯科医師会・毎日新聞社主催、大阪市天王寺動物園事務所共催、大阪府・大阪市後援、大阪小児歯科専門臨床研究会協力)が開かれます。4回目となる今年もテツオ君が、大きな口を開けて気持ちよさそうに歯を磨いてもらう姿を見せてくれるでしょう。

カバのテツオだよ。

歯みがき するから 見に来てね!

31日 午後1時半から
天王寺動物園で

テツオは別家のオス、天王寺動物園で生まれ、今年10月生まれのお誕生日を迎えるカバのテツオ君も、カバ合で磨かれています。野生のカバは、力強い歯にたいして、夜行性のため、一日ほとんど水中の中を過ごし、テツオも40センチの水たなえたカバのプールの中のことが多いです。バは水より比重が大きいので、水を歩くことができません。泳ぐのは得意で、陸上でも泳ぎ40センチのスピードで泳ぐ力を持っていますが、長時間泳ぎは苦手です。



◀歯を磨いてもらうため大きく口を開けるカバのテツオ(昨年のイベントで)

150度まで開く大きな口

皮膚を守るため、赤みを帯びた粘膜を出し、血の付いた歯を磨かれますが、カバには汗腺がありません。これは汗ではなく、この粘液には殺菌作用があるため、肌を傷けずとも歯を磨くのに十分な力があるからです。カバは、この原因がなくても、その口の中に歯は約40本あります。中でも下あごから上伸びている大歯は、水を流す時に目の口を塞ぎ、乾燥を防ぎます。

人と同じ お菓子で虫歯に

テツオは糖尿病、1日に200gもの食料を必要とします。肉食性です。干し草や野菜、飼料を食べているカバの口の中には、人間の歯と似たような虫歯菌がいます。お菓子を食べているカバは、虫歯に悩まされています。人間と同じです。テツオの歯を磨くには、歯ブラシがおすすめです。歯を磨く際には、歯ブラシを動かして、歯と歯の間に汚れを取り除くようにしてください。

子どもの歯科相談
専門家に無料で

子どものための歯科相談は、テツオの歯みがきの後、カバ合そばの特設テントで行います。大阪小児歯科専門臨床研究会会員の専門医が無料で相談に応じます。対象は0~12歳児と保護者。先着120人。午後1時から整理券を相談場所で配布します。

大阪府歯科医師会会長 太田 謙司



大切さ 楽しく学ぼう

6月4日からの「歯と口の健康週間」で、この期間を中心に全国各地で歯科保健のための催しが開催されます。今年、幼児・学童期の虫歯は減少しています。このことは大変喜ばしいことです。口内の衛生状態を良好に保つて歯を健康に保つていくことが、人生を豊かにするうえで大切なことです。そのための歯みがき、歯磨き剤の使用、定期的な歯科検診、口内の衛生状態を良好に保つていくことが、人生を豊かにするうえで大切なことです。そのための歯みがき、歯磨き剤の使用、定期的な歯科検診、口内の衛生状態を良好に保つていくことが、人生を豊かにするうえで大切なことです。

ホッキョクグマの「モモ」

天王寺動物園では昨年11月、ホッキョクグマにメスの赤ちゃんが生まれました。名前を募集しましたが、最も応募が多かった「モモ」に決定。毎日午前9時半から午後1時半、母のバフィンとともに遊ぶ姿が見られます。ホッキョクグマは、北極の水に穴を開けて巣を作ります。元々とても静かな環境に暮らしていますが、動物園はうるさいですし、気温もはるかに高いですから、なかなか出産・飼育までこぎつけるのは大変だそうです。とても賢い動物で、道具を使って



ホッキョクグマの赤ちゃん「モモ」(2013年3月)と生母を一緒に撮影

まだまだ
見どころいっぱい

ミミナガヤギの「メイ」

動物園は今年1月1日、創立100周年を迎えました。PR隊をつくって国内外でPR活動を行っています。主役はメスのミミナガヤギのメイちゃん(6歳)。名前通り、大きな耳が垂れ下がっているのが特徴です。飼育員らと園内を散歩するなどして、100周年をPRしています。



獣医師の西向さんからえさをもらうミミナガヤギのメイ

「ナイトズー」初開催

8月8日から
また、記念イベントとして8月8~10日、午後8時まで開催する「ナ

イトズー」を初めて行います。園内の一部を除いて、ライオンやハイエナ、草食動物も見る事ができます。園では夜間照明や園路の整備をするなど準備を進めており、昼間とは違う動物の姿を楽しめそうです。